

令和2年度第三者評価 改善状況報告書

令和3年5月28日

施設名	港区立港南子ども中高生プラザ	施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課
所在地	東京都港区港南4-3-7	指定管理者	一般財団法人本所賀川記念館

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和3年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和3年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
項目(カテゴリー)等				
隣接するタワーマンション群では住民の引っ越し等で出入りが多く、居住している子育て世帯向けの認知度を高める工夫が必要となっている。		3月までの時点では改善できていなかった。	1) 「プラッとサロン」(昨年度はコロナ禍で実施できなかった)を各集合住宅の代表者と話し合い、感染症対策を実施しながら積極的に外に出向いた活動をしていく。 2) 地域の他の子育て支援施設と相互交流し、おたより等を相互の施設内で配布して、利用者が行き来できるようにする。 3) ホームページをスマホ対応(レスポンス化)にして、多くの子育て中の保護者に閲覧してもらえるようにする。	地域の住民や施設との繋がりが強化されることにより利用者同士の相互交流が生まれ、認知度が高まるとともに地域の児童福祉施設として高い信頼が得られるよう期待します。また、利便性と確実性を兼ね備えた情報発信ができるようサポートしていきます。
事業報告書で、当初の目標と取り組みの関連性や目標の達成度合いが分かりやすくなるような記述の工夫をしていくことが期待される。		3月までの時点では改善できていなかった。	1) 各事業の計画提出時に、年度目標と照らし合わせてチェックする流れを強化していく。 2) 事業目標をどれくらい達成できたか職員でフィードバックを行い、達成度をパーセントやグラフ等で視覚化する。 3) 2)で達成できなかった部分に対して次年度以降どのように取り組んでいくかを表現する。	事業の計画・目標から結果までが一連の流れとなり数値化、視覚化され、よりわかりやすい報告となるよう期待します。
職員、児童間のジェンダーの問題		職員研修で「ジェンダー」について取り上げ、ジェンダーに配慮した子どもへの声のかけ方、指導の仕方を職員同士で話し合った。学童クラブの児童名マグネットの男女別を色で識別することを止めた。	1) 「ジェンダー」を取り上げた職員同士話し合いの場を設けていく。 2) 子どもを交えて「ジェンダー」を取り上げた話し合いの場も設けていく。	多様性を認め合い、誰もが安心・快適に過ごせる施設環境が整えられるよう区としても指導していきます。